



2:36 王は人を遣わしてシムイを呼び寄せ、彼に言った。「エルサレムに自分の家を建て、そこに住むがよい。だが、そこからどこへも出てはならない。」

2:37 出て行ってキデロンの谷を渡った日には、おまえは必ず死ななければならないと覚悟しておけ。おまえの血の責任はおまえ自身の頭上に降りかかるのだ。」

2:38 シムイは王に言った。「よろしゅうございます。しもべは王様のおっしゃるとおりにいたします。」このようにしてシムイは、何日もの間エルサレムに住んだ。

2:39 それから三年たったころ、シムイの二人の奴隷が、ガテの王マアカの子アキシュのところへ逃げた。シムイに「あなたの奴隷たちが今、ガテにいる」という知らせがあったので、

2:40 シムイはすぐ、ろばに鞍を置き、奴隷たちを捜しにガテのアキシュのところへ行つた。シムイは行って、奴隷たちをガテから連れ戻した。

2:41 シムイがエルサレムからガテに行つて帰つて来たことが、ソロモンに知らされた。

2:42 すると、王は人を遣わし、シムイを呼び出して言った。「私はおまえに、【主】にかけて誓わせ、『おまえが出て、どこかへ行つた日には、おまえは必ず死ななければならない』と覚悟しておけ』と警告しておいたではないか。すると、おまえは私に『よろしゅうございます。従います』と言った。

2:43 それなのに、【主】への誓いと、私がおまえに命じた命令を守らなかったのか。」

2:44 王はまたシムイに言った。「おまえは心の中で、自分が私の父ダビデに対して行ったすべての悪をよく知っているはずだ。【主】はおまえの悪をおまえの頭に返される。」

2:45 しかし、ソロモン王は祝福され、ダビデの王座は【主】の前でとこしえまでも堅く立つ。」

2:46 王はエホヤダの子ベナヤに命じた。ベナヤは出て行ってシムイを討ち取り、シムイは死んだ。こうして、王国はソロモンによって確立した。

シムイは本来、その悪事によって殺されなければならぬ人でした。しかし、ソロモンは温情にやっで赦していただいたのです。しかしその条件でさえ、彼は破ってしまいました。

シムイは自分の罪の自覚も足りませんでした。自分自身が決めた行動によつてさばかれたのです。もしもクリスマスまでもまた罪赦された者です。もしも信じないままにいたなら、それはシムイと同じく、自分が決めたこととということになります。

私たちは赦された者ですが、その自覚が必要で、イエス様の十字架によつてようやく赦された者であることを忘れないで、その教えに従いましょう。シムイのように赦しを軽く見ないようにしましょう。大いに感謝しつつ従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にもどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

